

ABC認知症スケール

評価実施日時	201__年____月____日
患者氏名	
患者ID	
情報提供者氏名	
評価者氏名	

ABC認知症スケールについて

- 評価を開始する前に、「情報提供者用の質問紙」を介護者に手渡し、よく読んでこれから質問する内容を理解するようにアドバイスしてください。
- 評価者（医師、看護師、臨床心理士、保健師など）は、介護者に13個の質問をします。質問紙に記載された具体例を使用して質問してください。直近1カ月の患者の様子について、答えるように介護者にアドバイスしてください。
- 評価者は、介護者の回答をもとに、患者の状態・状況について、9段階での中から最も近いスコアを判定してください。
- 各質問において、9段階のうちの5段階（アンカーポイント）を文章で示しています。もし、上と下のアンカーポイント両方に等しく当てはまると介護者が回答した場合は、そのアンカーポイント間の段階を選んでください。例：9点と7点に記載された両方の状態に等しく当てはまりそうな場合は、8点を選択してください。
- 質問の具体例が、患者が行わないような行為である場合は、もし患者が実際に行った場合を想定して回答するように介護者にアドバイスしてください。
- 医療従事者が介護者に質問をする際は、原則、患者を同席させないようにしてください。

1. 患者さんが服を着替えるときの様子はどうですか？

点

具体例

9点 時間をかけずに、自分で正しく着脱衣ができる

8点

7点 時間がかかるが、自分で正しく着脱衣ができる

6点

5点 口頭指示があれば、自分で着脱衣ができる

4点

3点 着脱衣の一部を介護者が行う必要がある

2点

1点 着脱衣の全てを介護者が行う必要がある



1. 患者さんが服を着替えるときの様子はどうですか？

＜ガイドンス＞

7点：以前と比べて明らかに着脱衣に時間がかかるようになった。

※認知症と診断されている場合は、認知症になる前と比べてください。認知症と診断されていない場合は、最近の着脱衣にかかる時間に変化があるかを評価してください。

5点：自分で適切な服を選んだり、正しく着たりすることができず、何らかの助けが必要である。

※これは、実際に手を出すことはせず、介護者が「口頭で指示する」「着る順に並べておく」ことで、自分で着替えができるレベルです。口頭指示がない場合でも自分で服を着ることはできるが、季節にあっていない服装であったり、着方が間違っていたりする場合も5点と評価します。

3点：「袖を通してあげる」「ボタンをかけてあげる」などの手助けが必要である。

2. 患者さんは日常生活動作をどれくらい自発的に行っていますか？

(たとえば、買物、リハビリ・デイサービス、歯磨き、髭剃り、化粧、整髪、起床など)

点

具体例

9点 声掛けしなくても自らしている

8点

7点 時に声掛けが必要である

6点

5点 常に声掛けが必要である

4点

3点 声掛けしてもやろうとしない時がある

2点

1点 声掛けしても全くやらない



2. 患者さんは日常生活動作をどれくらい自発的に行っていますか？

<ガイダンス>

この項目は、患者の能力ではなく、自ら行おうという意欲を評価するものです。表題の下に例を示しましたが、習慣がある(あった)行為のうち、最も意欲を見せる行為で判断してください。

「起床」で評価する場合、目を覚ます行為ではなく、目を覚ましてからの起き上がる行為で評価してください。

3. 患者さんが誰かに何かを伝えたいと思っているとき、
どれくらい会話でそれを伝えることができますか？

点

具体例

9点 会話に支障がない

8点

7点 複雑な会話ができない

6点

5点 具体的な欲求しか伝えられない

4点

3点 発語はあるが、会話が成り立たない

2点

1点 発語がなく、無言である



3. 患者さんが誰かに何かを伝えたいと思っているとき、どれくらい会話でそれを伝えることができますか？

<ガイダンス>

「会話ができる」とは、2者の意思が互いに疎通できている状態を指します。

9点：「〇〇だから、××である。」といった2つ以上の情報がつながった話をすることができる。

例1) 患者「〇時△△駅で待ち合わせですって」

介護者「分かったわ」

例2) 患者「手紙を書くからペンが欲しいわ」

介護者「分かったわ」

7点：「〇〇だから、××である。」といった2つ以上の情報がつながった話をすることはできない。

例1) 患者「駅が・・・」(複数の情報をつなげて話せない)

介護者「駅がどうしたの？」

例2) 患者「ペンが・・・」(因果関係をうまく説明できない)

介護者「ペンがどうしたの？」

※介護者が状況から察することができても、患者自身が因果関係を説明できなければ7点としてください。

5点：「痛い」「お腹が空いた」などの具体的な要求しか伝えられない。

3点：発語はあるが、簡単な質問に対して適切な回答ができなかったり、何を聞いても「うん」とだけ答える。

4. 患者さんがテレビやエアコンなどの電化製品を操作する場合の様子はどうですか？

点

具体例

9点 自由に操作できる

8点

7点 チャンネルの順送りなど普段している操作はできる

6点

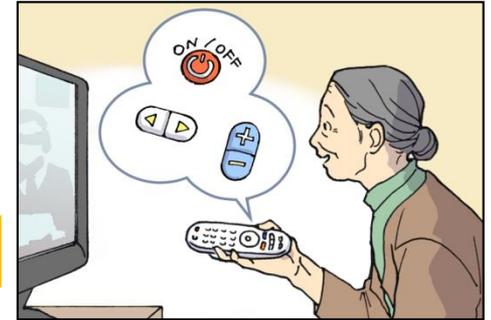
5点 操作間違いが多いが、操作方法を教えれば使える

4点

3点 リモコンを認識しているが、リモコンの使い方が全く分からない

2点

1点 リモコンが何をするものか分からない



4. 患者さんがテレビやエアコンなどの電化製品を操作する場合の様子はどうですか？

<ガイダンス>

電化製品の操作能力を評価する項目です。できるだけテレビで評価してください。テレビが無い場合のみ、エアコンで、いずれもない場合のみ、電子レンジ、ラジオなどの電化製品の操作で評価してください。

9点：「複雑な操作」も自分で考えて行うことができる。

「複雑な操作」の例は以下の通りです。

テレビ・・・見たいチャンネルのボタン押し・入力切替(BS⇄地デジ) など

エアコン・・・暖房・冷房の切り換え・風向きの変更 など

その他・・・電子レンジの場合はタイマーのセット、ラジオの場合はチューナーを合わせる

※「元々、NHKしか見ない」場合のように、元々「複雑な操作」をしないために複雑な操作ができるのかわからない場合は7点としてください。

7点：「単純な操作」であれば自分で行なうことができる。

「単純な操作」の例は以下の通りです。

テレビ・・・電源のON/OFFまたは、チャンネルの順送り

エアコン・・・電源のON/OFFまたは、温度の上げ下げ(適切な温度設定はできなくてもよい)

その他・・・ラジオの場合はON/OFF、電子レンジの場合は食品を中に入れる

5点：「単純な操作」が分からないことがあるが、教えれば自分で操作することができる。

3点：何をやる電化製品かは分かるが、操作を教えても自分で操作することはできない。

5. 患者さんは身近なものを置いた場所をどのように思い出すことができますか？

(たとえば、診察券、補聴器、保険証、財布、靴、帽子、メガネ、上着、家の鍵など)

点

具体例

9点 忘れることはない

8点

7点 たまに忘れることがあるが、考えることで思い出せる

6点

5点 きっかけを与えれば自分で思い出すことがあるが、思い出せないこともある。

4点

3点 置いた場所を全く思い出せない

2点

1点 忘れたこと自体を認識していない



5. 患者さんは身近なものを置いた場所をどのように思い出すことができますか？

<ガイダンス>

介護者が一緒に探しているなど、患者が一人で探す様子が分からない場合は、もし患者が一人で探すとしたらどうかを想定していただき、評価してください。

7点の「たまに」とは「週に1回程度」です。

5点の「思い出せる」と「思い出せない」は同じくらいの頻度です。

<質問例>

- ①「身近なもの、例えば財布、メガネ、鍵などで、置き場をよく忘れるものはありますか？」
(回答が出ないようであれば、順に例を増やしていく)
- ②「それを忘れた時、患者が自分で思い出すことはありますか？」
- ③「思い出すのにきっかけ(「いつもは〇〇に置いている」「昨日は〇〇していた」など)が必要ですか？」というような順で聞くと聞きやすいようです。

6. 患者さんは身の回りに起こった日常的な出来事を どれくらいの期間、覚えていますか？

(たとえば、通院、来客、買い物、外出、通話など)

点

具体例

9点 1週間前のことを覚えている

8点

7点 数日前のことは覚えているが、1週間前のことは
覚えていない

6点

5点 昨日のことは覚えているが、数日前のことは
覚えていない

4点

3点 半日前のことは覚えているが、昨日のことは
覚えていない

2点

1点 まったく覚えてもらえない



6. 患者さんは身の回りに起こった日常的な出来事をどれくらいの期間、覚えていますか？

<ガイダンス>

身の回りで起きた日常的な出来事をどれくらいの期間、覚えているか、1ヶ月以内の様子を評価してください。

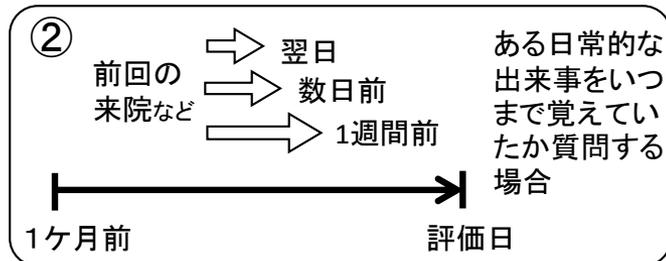
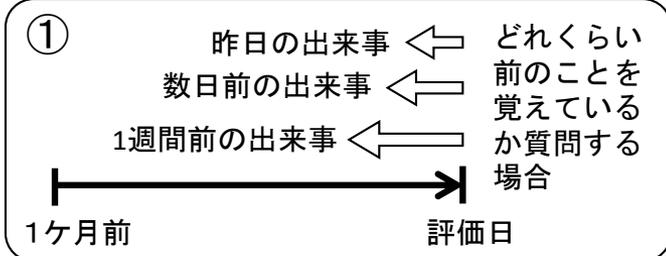
<質問例>

まず、「身の回りの日常的な出来事、例えば通院、買い物、(よく会う)人と会ったことなどについて、患者さんはどのくらい前の事まで覚えているかをお尋ねします。(評価日から)1週間前、数日前、昨日の出来事は覚えていらっしゃいますか？」と質問してください。

① 例えば、「1週間前のことは覚えていないけど、数日前のことは、覚えている」と回答された場合は、7点としてください。

② 例えば、「この1週間は出かけてないし、誰かと電話で話したりもしてません」と回答された場合は、1ヶ月以内にあった出来事(できるだけ日常的なもの)を聞き出し、その出来事を「どれくらい後まで覚えてましたか？」と質問してください。

例えば、「数日は覚えていたが、1週間経つと覚えていなかった」との回答であれば、7点としてください。



※ なお、例えば、「数日前のことは覚えているが、昨日のことは覚えていない」と回答された場合は、覚えていない方に着目して評価し、3点(昨日のことは覚えていない)または2点としてください。

これは、数日前の出来事が印象的であった(本人にとっては日常的でなかった)ため、たまたま覚えていただけの可能性が高いと考えられるからです。

7. 静かに座っていなければならない状況での様子は どうですか？

(たとえば、バスの中、電車の中、診察中など)

点

具体例

9点 落ち着いて座っている

8点

7点 座ってられるが、そわそわした様子を見せる

6点

5点 突然立ち上がったたり、歩き回ったりするが、
声掛けで落ち着く

4点

3点 何度かの声掛けで落ち着いても、すぐに
落ち着きのない状態になる

2点

1点 常に落ち着きがなく、座ってられない



7. 静かに座っていなければならない状況での様子はどうですか？

<ガイダンス>

1ヶ月以内で環境の変化などがあった場合は、それ以後の様子で判断してください。

日常的な場面と非日常では、患者の様子が異なる場合は、日常的な場面での様子で評価してください。

8. 患者さんの意に沿わないことがあったときの様子は
どうですか？

点

具体例

9点 変わらない

8点

7点 些細なことに対して、怒りっぽくなった

6点

5点 暴言を発し、粗暴な素振りをするようになった

4点

3点 身内に対しては、暴言を発したり、実際に暴力を
振るうことがある

2点

1点 誰に対しても、暴言を発したり、実際に暴力を
振るうことがある



8. 患者さんの意に沿わないことがあったときの様子はどうですか？

<ガイダンス>

認知症と診断されている場合は、認知症になる前と比べてください。認知症と診断されていない場合は、最近の怒り易さの変化があるかを評価してください。

7点：怒る様子が以前と明らかに異なり、怒りっぽくなったと確信することがたまにある。

5点の「粗暴な素振り」には、「手伝おうとした者の手を払い除ける」といった行為も含まれます。

9. 介護者さんが患者さんに何かをお願いした場合の様子は どうですか？

(たとえば、入浴・服薬・着脱衣・外出など)

点

具体例

9点 素直に従う

8点

7点 少し嫌がるけれども、丁寧に説得すると
従ってくれる

6点

5点 稀に拒絶する

4点

3点 時々拒絶する

2点

1点 常に拒絶する



9. 介護者さんが患者さんに何かをお願いした場合の様子はどうですか？

<ガイダンス>

この項目での「拒絶」とは、単に嫌がるだけでなく、丁寧に説得しても従わない状態とします。

5点の「稀に」は10回に3回程度を目安としてください。

3点の「時々」は10回に6回程度を目安としてください。

10. 患者さんが服薬する場合、どれくらいの介助が必要ですか？

点

具体例

9点 自分で正しく服薬できる

8点

7点 自分で用意して服薬できるが、
たまに服薬し忘れることがある

6点

5点 2回に1回は服薬を忘れる

4点

3点 常に薬を手渡しすることが必要である

2点

1点 服薬し終わるまで介助・見守りが必要である



10. 患者さんが服薬する場合、どれくらいの介助が必要ですか？

<ガイダンス>

服薬していなかったり、介護者が先に準備しているなど、患者の実際の服薬能力が分からない場合は、もし患者が一人で服薬するとしたらどうかを想定していただき、評価してください。

7点の「たまに」とは週1回程度です。薬の残数が合わないことなどから服薬し忘れを判断してください。

5点：声掛けや手渡しが必要であり、声掛けや手渡しがなければ2回に1回は服薬を忘れる。

※薬によって、選り好みがある場合は、最も服薬しようとしている薬で判断してください。

11. 患者さんが食事をするときに、どれくらいの介助が必要ですか？

点

具体例

9点

自分で食事を摂ることができ、食べこぼしなどはない

8点

7点

自分で食事を摂ることができるが、食べこぼしなどがある

6点

5点

食事の際に、見守りや声掛けが必要である

4点

3点

食べ物を口に持っていく事で、ようやく食べる

2点

1点

ほとんど食べない



11. 患者さんが食事をするときに、どれくらいの介助が必要ですか？

<ガイダンス>

食への興味、食欲、食事の介助の程度を評価するもので、過食や異食は評価しません。

7点での様子について、「食べのこし」ではなく「食べこぼし」があるかないかご確認ください。評価の際に考慮する必要はありませんが、声掛けなどが不要な程度の食事量の変化やぎこちなさが出てくる頃でもあります。

5点：声掛けや見守りが必要となる程度に食事の自立度が下がる。

3点：自分では食べないため、介護者が口まで持っていく必要があり、持っていけば食べる。

1点：口まで持っていってもほとんど食べない。

12. 患者さんがトイレを使うときに、どれくらいの介助が必要ですか？

点

具体例

9点 トイレを自分で問題なく使える

8点

7点 トイレを usable が、時々トイレを汚してしまう

6点

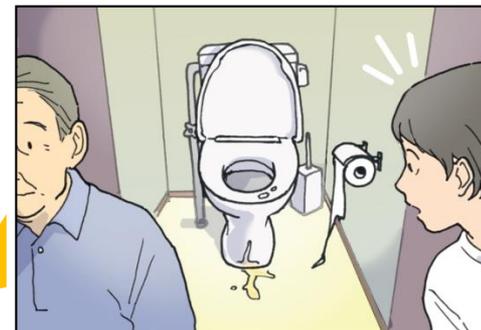
5点 尿パット・オムツ・トイレへの誘導のいずれかが必要であるが、自分でトイレを usable

4点

3点 オムツを着用している。介助があればトイレを usable とときもある。

2点

1点 トイレは使用せず、常時オムツである。オムツの交換も常に介助が必要である。



12. 患者さんがトイレを使うときに、どれくらいの介助が必要ですか？

<ガイダンス>

まれに尿パッドを使うことがあっても、自分で処理することができ、オムツが不要であれば、7点としてください。

13. 介護者さんは、患者さんをどれくらい看守する必要がありますか？

点

具体例

9点 全く介護が要らない

8点

7点 1日1回様子を見ればよい

6点

5点 半日（3時間）程度なら安心して外出できる

4点

3点 30分程度も目が離せない。
(買い物などのための外出ができない)

2点

1点 常に目が離せない



13. 介護者さんは、患者さんをどれくらい看守する必要がありますか？

<ガイダンス>

「看守り」とは患者と家族の安全性を守る行為です。

部屋に閉じ込めて無理な留守番を意図的にさせている場合、徘徊を放置している場合は、1点としてください。

スコア集計シート

患者氏名: _____

測定日: _____ 年 月 日

項目	ドメイン	質問内容	ドメインA	ドメインB	ドメインC
Q1	A	患者さんが服を着替えるときの様子はどうか？			
Q2		患者さんは日常生活動作をどれくらい自発的に行っていますか？			
Q3		患者さんが誰かに何かを伝えたいと思っているとき、どれくらい会話でそれを伝えることができますか？			
Q4		患者さんがテレビやエアコンなどの電化製品を操作する場合の様子はどうか？			
Q5	C	患者さんは身近なものを置いた場所をどのように思い出すことができますか？			
Q6		患者さんは身の回りに起こった日常的な出来事をどれくらいの期間、覚えていますか？			
Q7	B	静かに座っていないなければならない状況での様子はどうか？			
Q8		患者さんの意に沿わないことがあったときの様子はどうか？			
Q9		介護者さんが患者さんに何かをお願いした場合の様子はどうか？			
Q10	C	患者さんが服薬する場合、どれくらいの介助が必要ですか？			
Q11	A	患者さんが食事をするときに、どれくらいの介助が必要ですか？			
Q12		患者さんがトイレを使うときに、どれくらいの介助が必要ですか？			
Q13	C	介護者さんは、患者さんをどれくらい看守する必要がありますか？			
小計	ドメインA スコア合計				
	ドメインB スコア合計				
	ドメインC スコア合計				
合計	13項目スコア合計 (ドメイン A + ドメイン B + ドメイン C)				

ドメインA:
日常生活動作関連

ドメインB:
行動心理症状関連

ドメインC:
認知機能関連

判定結果

13項目 スコア合計	Global CDR 推定値
117点～101点	0 / 0.5
100点～86点	1
85点～71点	2
70点～3点	3

スコア集計シート(記入見本)患者氏名: _____

測定日: _____ 年 月 日

項目	ドメイン	質問内容	ドメインA	ドメインB	ドメインC
Q1	A	患者さんが服を着替えるときの様子はどうですか？	7		
Q2		患者さんは日常生活動作をどれくらい自発的に行っていますか？	7		
Q3		患者さんが誰かに何かを伝えたいと思っているとき、どれくらい会話でそれを伝えることができますか？	5		
Q4		患者さんがテレビやエアコンなどの電化製品を操作する場合の様子はどうですか？	5		
Q5	C	患者さんは身近なものを置いた場所をどのように思い出すことができますか？			6
Q6		患者さんは身の回りに起こった日常的な出来事をどれくらいの期間、覚えていますか？			7
Q7	B	静かに座っていないなければならない状況での様子はどうですか？		9	
Q8		患者さんの意に沿わないことがあったときの様子はどうですか？		5	
Q9		介護者さんが患者さんに何かをお願いした場合の様子はどうですか？		7	
Q10	C	患者さんが服薬する場合、どれくらいの介助が必要ですか？			7
Q11	A	患者さんが食事をするときに、どれくらいの介助が必要ですか？	5		
Q12		患者さんがトイレを使うときに、どれくらいの介助が必要ですか？	7		
Q13	C	介護者さんは、患者さんをどれくらい看守する必要がありますか？			8
小計	ドメインA スコア合計		36		
	ドメインB スコア合計			21	
	ドメインC スコア合計				28
合計	13項目スコア合計 (ドメイン A + ドメイン B + ドメイン C)		85		

ドメインA:
日常生活動作関連

ドメインB:
行動心理症状関連

ドメインC:
認知機能関連

判定結果

13項目 スコア合計	Global CDR 推定値
117点～101点	0 / 0.5
100点～86点	1
85点～71点	2
70点～3点	3

